

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 神原苑 神原障害児デイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 15日		～ 令和 8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 15日		～ 令和 8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 個々の利用者の特性を把握し、保護者と話し合いを行い日常生活における基本的動作の支援や将来に向けた目標や課題を設定し、取り組んでいる。 集団活動を通して様々な活動に参加することで、仲間作りや社会性が身に付くよう支援している。 長期休暇時は、作業活動、園芸活動、表現活動、お買い物学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な療育会議やミーティング等で活動内容の検討、見直しを行っている。 障害就労支援施設等の見学を研修に取り入れている。
2	各関係機関との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、障害相談支援専門員、学校、他事業所との情報共有を行い、相互の理解に努め、支援の統一化を図れるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害相談支援専門員の施設見学、随時、学校や行政、他事業所と連携を図り、情報共有を図れるよう取り組む
3	保護者への情報開示や情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の少しの変化を見逃さず、気になることを時間を保護者へ報告している。 保護者からの気づきや相談、問い合わせに対し口頭や連絡帳にて対応している。対応内容は日々の申し送り時に職員に情報提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の申し送り時や、半年毎のモニタリング等を活用し、保護者との面談する場を設け情報共有に努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 第三者による外部評価がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人本部が取り入れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、要検討。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域の放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のことと活動する機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校終了後や、長期休暇時のスケジュールにおいて施設外に出る時間を設けることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールの調整、地域資源の把握等が必要となるため、今後、要検討。
3	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児向けの設備の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児向けのイス、机等が整備されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児に合わせた適切なイス、机等の設備を要検討。